

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が12例(男性8例(20歳代3例, 30歳代2例, 40歳代1例, 50歳代2例), 女性4例(20歳代1例, 30歳代1例, 50歳代1例, 80歳代1例))あり, 本年の累積報告数は21,161例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(70歳代男性)(第48週追加報告分)あり, 本年の累積報告数は19例となりました。
- ・ **インフルエンザ**は, 市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。全国でも報告数は極めて少なく(定点医療機関数約5,000から35例の報告), 現在のところ流行の兆候はありません。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は8.86(381例)で前週7.33(315例)よりさらに増加し, 2週続いて過去5年平均値を上回りました。全国では過去5年平均値を下回って推移しているものの, 第45週(3.21)から4週間で倍増し6.65まで増加しました。現在のところ, 警報基準値20には達しておらず, 全市的な流行と言える状況ではありません。しかし, 伏見区では24.9まで増加しており, 局所的に流行している恐れもあるため, 今後の動向に注意が必要です。
- ・ **手足口病**の定点当たり報告数は1.49(64例)で5年平均値を上回っていますが, 10月下旬よりおおむね減少し続けており, 流行しているとは言えません。全国では1.14と3週続けて減少していますが, 都道府県別では, 鹿児島県(6.33)や香川県(5.71)など, 九州・四国を中心に警報状態が継続している地域もあります。

◆ 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市の侵襲性肺炎球菌感染症は第49週に1例の報告があり, 本年累積報告数は19例となりました。過去5年の年間報告数は2016年から2019年までは63例から75例で推移していましたが, 昨年は25例でそれまでの3割～4割程度でした。本年は昨年よりも更に低い推移となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 238例(肺結核 84例, その他結核 76例, 潜在性結核感染者 78例)うち喀痰塗抹陽性 42例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 12例**【1月以降の累積報告数21,161例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 19例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

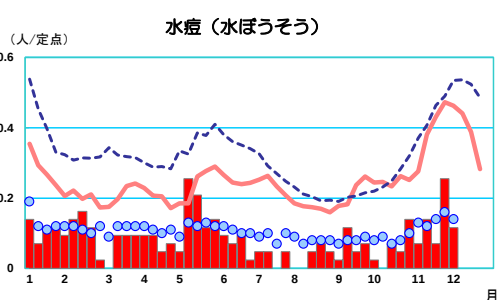
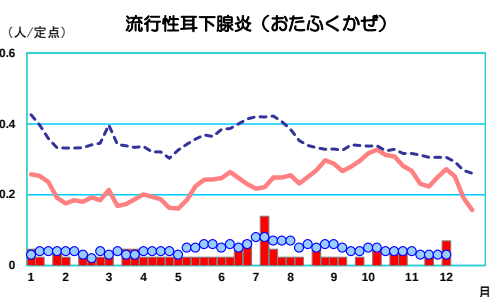
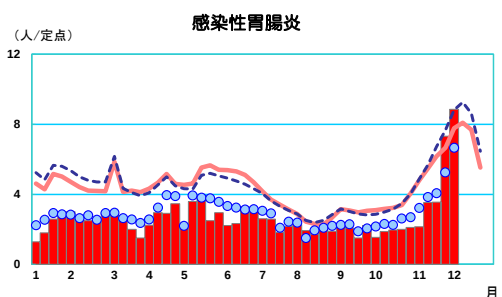
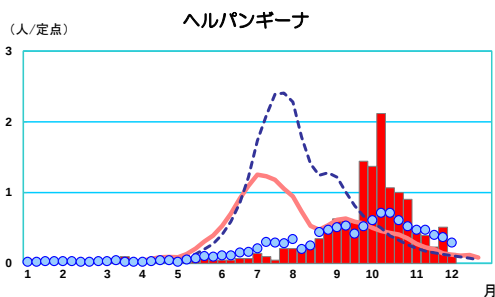
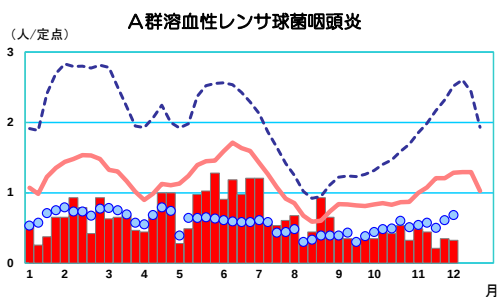
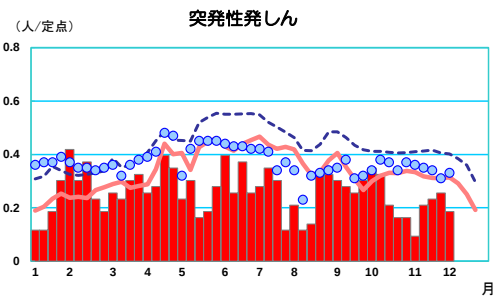
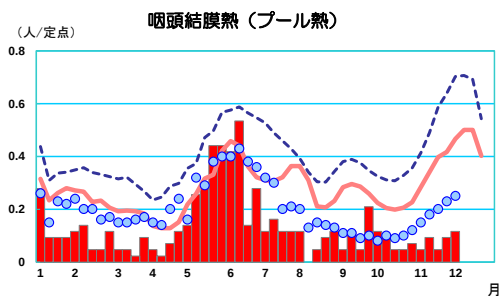
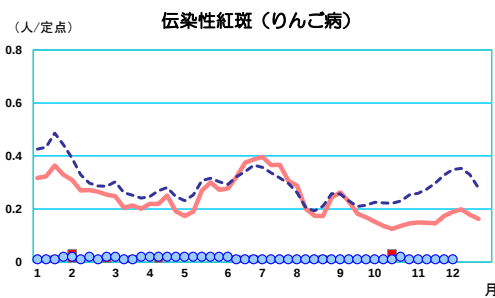
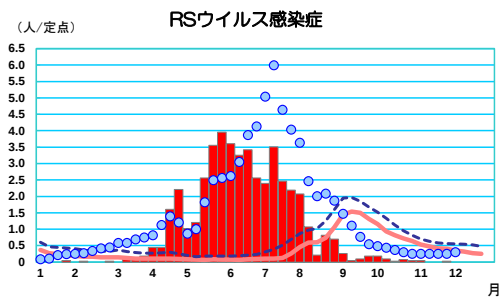
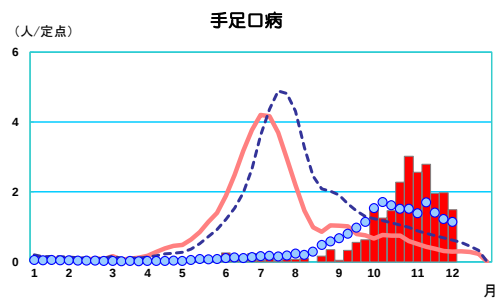
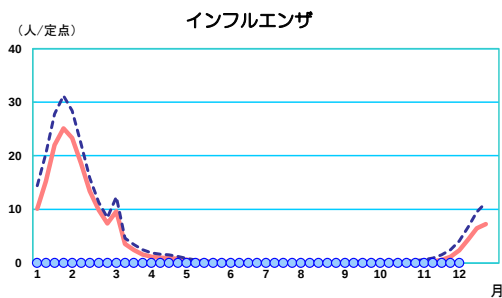
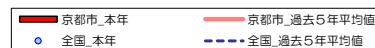
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8. 86	381
	② 手足口病	1. 49	64
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 33	14
	④ 突発性発しん	0. 19	8
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 14	6
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

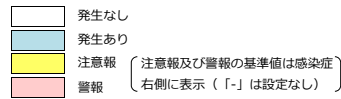
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年12月15日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

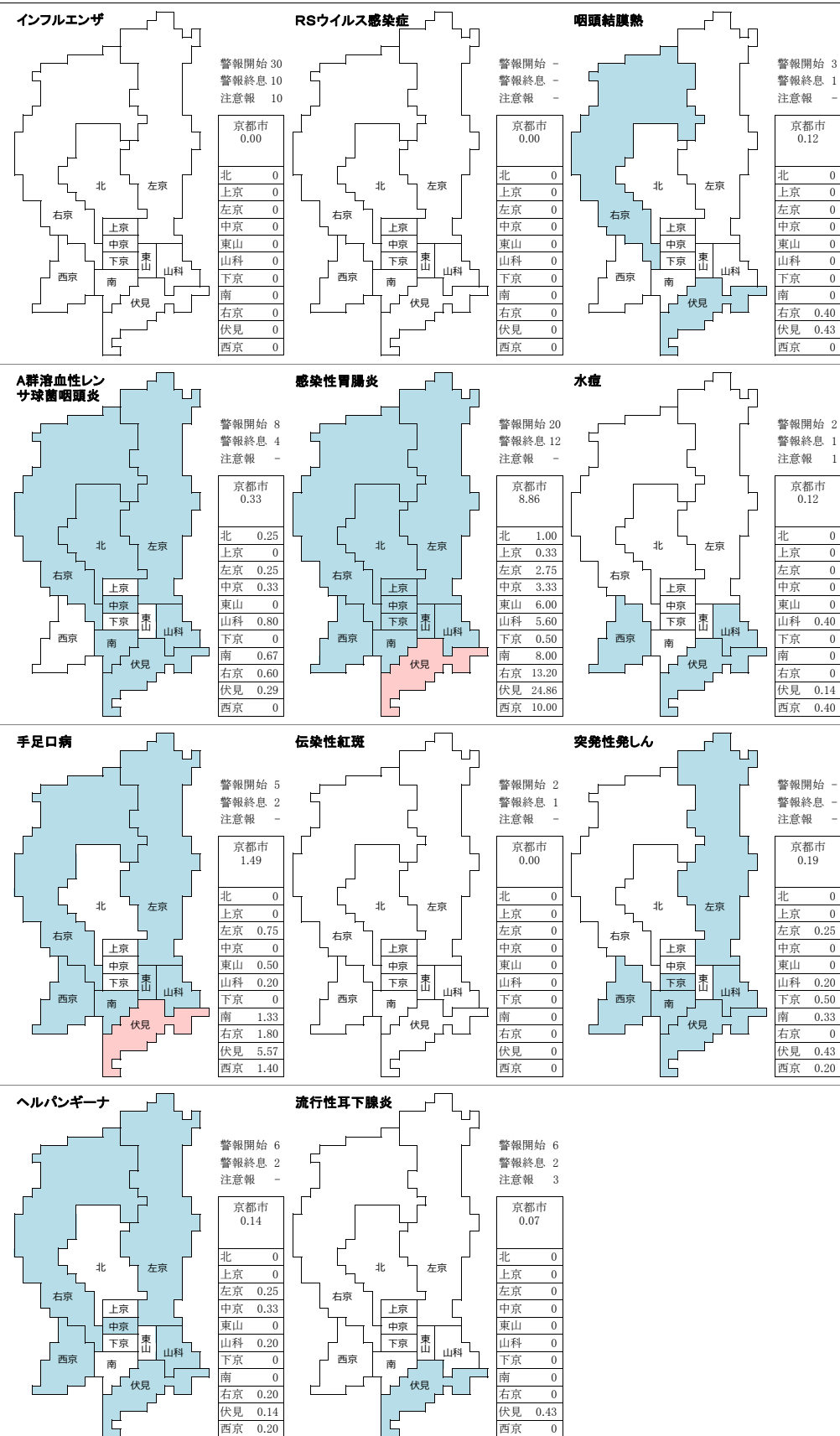
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第49週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
 規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第49週(12月6日～12月12日)トピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市の侵襲性肺炎球菌感染症は第49週に1例の報告があり、本年累積報告数は19例となりました。過去5年の年間報告数は2016年から2019年までは63例から75例で推移していましたが、昨年は25例でそれまでの3割～4割程度でした。本年は昨年よりも更に低い推移となっています(表1)。

本疾患は2013年4月に感染症法の5類全数把握感染症として、診断から7日以内の届出が義務付けられました。それ以降の全国の推移を見ると、2017年までは年々増加していましたが、2017年から2019年は3,200～3,300例程度の横ばいで、流行曲線の形状もほとんど同じでした。昨年及び本年の全国の報告数は、昨年在りまでの半分から4割程度、本年は昨年より更に低く推移しており、京都市と同様の傾向です。(表1及び図1)。

全国の過去5年の男女別構成割合では、男性がやや多い傾向があり、男性が約6割、女性が約4割となっています(表1)。

2016年から2021年第49週までの全国の報告数合計15,564例を年齢階級別でみると、最も多いのは70歳以上で47%と半数近くを占め、次いで60歳代が19%で、60歳以上で全体の66%を占めています。また、0歳が3%、1～4歳が13%で合わせて16%となっており、5歳未満と60歳以上の年齢層が疫学的に重要と考えられます(図2)。

本疾患の症状は小児と成人で異なります。小児では、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした菌血症が多く見られます。一方、成人では、発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く見られます。

予防施策として、肺炎球菌感染症の好発年齢である5歳未満の小児と65歳以上の成人を対象として、肺炎球菌ワクチンによる予防接種が実施されています。定期接種対象の小児及び65歳以上は、いずれも接種費用が公費で自己負担は無く、予防接種協力医療機関で接種できます。新型コロナウイルス感染症の流行に関わらず、予防接種は適切に受けるよう心掛けましょう。接種対象年齢、接種回数、京都市予防接種協力医療機関については、以下のURLを参照する他、かかりつけ医にご相談ください。

○京都市が実施する子どもの定期予防接種について(京都市情報館 保健福祉局)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(京都市情報館 保健福祉局)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

表1 京都市及び全国の報告数の推移

		2016	2017	2018	2019	2020	2021 第49週まで
京都市	男	42	37	37	34	17	12
	女	33	26	36	39	8	7
	合計	75	63	73	73	25	19
全国 (カッコ内は 男女別割合)	男	1,669 (61%)	1,887 (59%)	1,980 (59%)	2,022 (60%)	986 (60%)	838 (65%)
	女	1,066 (39%)	1,318 (41%)	1,348 (41%)	1,322 (40%)	669 (40%)	459 (35%)
	合計	2,735	3,205	3,328	3,344	1,655	1,297

図1 全国の累積報告数推移 (2016年～2021年第49週)

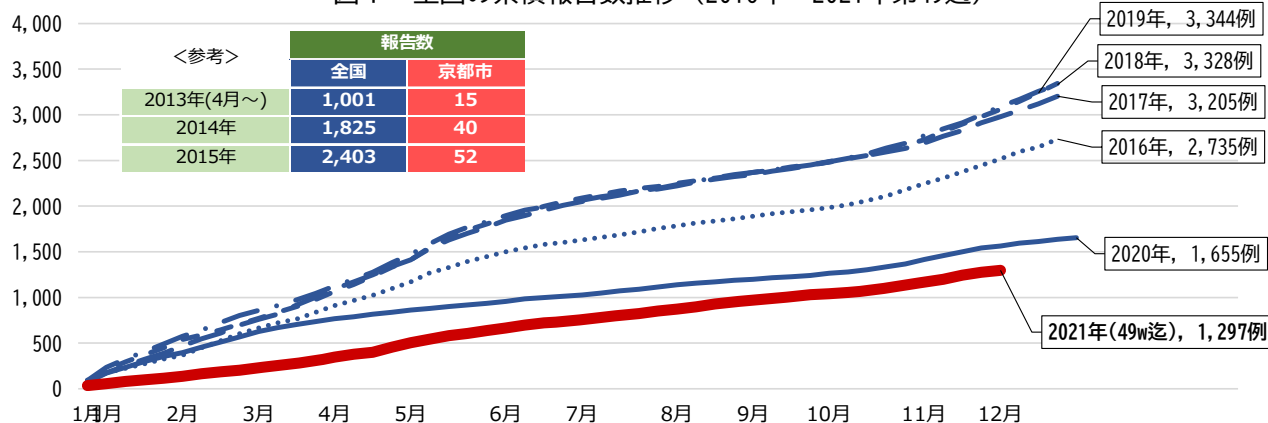
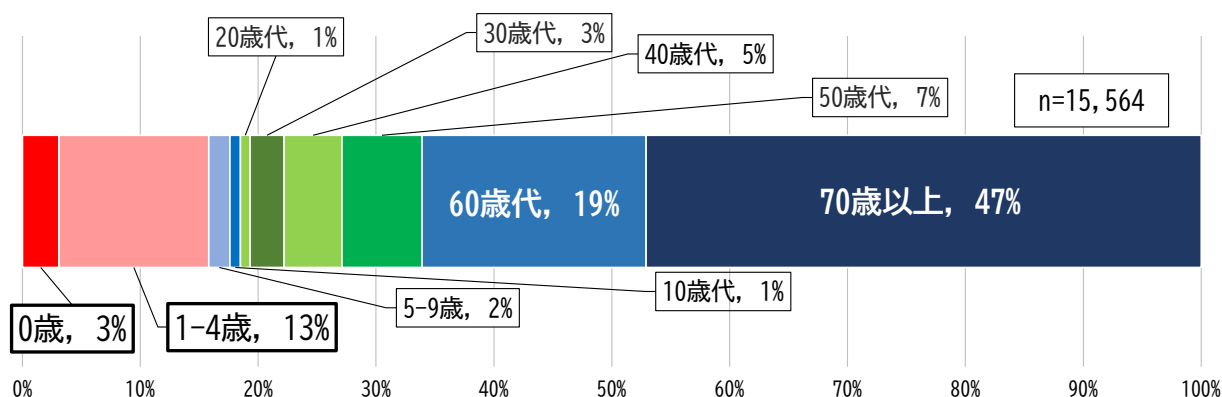


図2 全国の年齢階級別割合 (2016年～2021年第49週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第49週

疾病,行政区別報告数

2021年12月6日～2021年12月12日

データ入手日:2021年12月15日

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	1	11	-	3	-	1	1	-	-	-					
中京	-	-	-	1	10	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-							
山科	-	-	-	4	28	2	1	-	1	1	-	-	-					
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-							
南	-	-	-	2	24	-	4	-	1	-	-							
右京	-	-	2	3	66	-	9	-	-	1	-	-	-					
伏見	-	-	3	2	174	1	39	-	3	1	3	-	1					
西京	-	-	-	-	50	2	7	-	1	1	-	-	-					
京都市計	-	-	5	14	381	5	64	-	8	6	3	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	0.25	2.75	-	0.75	-	0.25	0.25	-	-	-					
中京	-	-	-	0.33	3.33	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6.00	-	0.50	-	-	-	-							
山科	-	-	-	0.80	5.60	0.40	0.20	-	0.20	0.20	-	-	-					
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-							
南	-	-	-	0.67	8.00	-	1.33	-	0.33	-	-							
右京	-	-	0.40	0.60	13.20	-	1.80	-	-	0.20	-	-	-					
伏見	-	-	0.43	0.29	24.86	0.14	5.57	-	0.43	0.14	0.43	-	0.50					
西京	-	-	-	-	10.00	0.40	1.40	-	0.20	0.20	-	-	-					
京都市計	-	-	0.12	0.33	8.86	0.12	1.49	-	0.19	0.14	0.07	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第49週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年12月6日～2021年12月12日

データ入手日:2021年12月15日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		5	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		14	－	1	－	1	2	2	2	2	－	－	－	－	－	4						
感染性胃腸炎		381	2	12	77	66	66	40	24	23	10	6	4	22	3	26						
水 痘		5	－	－	－	2	－	1	－	－	1	－	－	1	－	－						
手 足 口 病		64	－	4	24	25	5	2	2	1	－	－	1	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		8	－	3	4	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		6	－	－	－	4	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－						
流行性耳下腺炎		3	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ※1	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.12	－	－	0.12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.33	－	0.02	－	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	－	－	－	－	－	0.09						
感染性胃腸炎		8.86	0.05	0.28	1.79	1.53	1.53	0.93	0.56	0.53	0.23	0.14	0.09	0.51	0.07	0.60						
水 痘		0.12	－	－	－	0.05	－	0.02	－	－	0.02	－	－	0.02	－	－						
手 足 口 病		1.49	－	0.09	0.56	0.58	0.12	0.05	0.05	0.02	－	－	0.02	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.19	－	0.07	0.09	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.14	－	－	－	0.09	0.02	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－						
流行性耳下腺炎		0.07	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	0.02	－	0.02	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎※2	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎※3		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎※4		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第49週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年12月15日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		2	2	－	－	1	－
咽 頭 結 膜 熱		3	2	4	2	4	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		14	21	19	9	15	14
感染性胃腸炎		91	92	152	153	315	381
水 痘		6	3	6	3	11	5
手 足 口 病		130	110	120	84	85	64
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－
突発性発しん		7	4	9	10	11	8
ヘルパンギーナ		39	18	17	10	22	6
流行性耳下腺炎		2	－	－	1	－	3
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		1	－	－	1	－	1
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		296	252	327	273	464	487

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.01	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		0.05	0.05	－	－	0.02	－
咽 頭 結 膜 熱		0.07	0.05	0.09	0.05	0.09	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.33	0.49	0.44	0.21	0.35	0.33
感染性胃腸炎		2.12	2.14	3.53	3.56	7.33	8.86
水 痘		0.14	0.07	0.14	0.07	0.26	0.12
手 足 口 病		3.02	2.56	2.79	1.95	1.98	1.49
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－
突発性発しん		0.16	0.09	0.21	0.23	0.26	0.19
ヘルパンギーナ		0.91	0.42	0.40	0.23	0.51	0.14
流行性耳下腺炎		0.05	－	－	0.02	－	0.07
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	－	－	0.10	－	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		6.95	5.86	7.60	6.43	10.79	11.40

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。